

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	自動車工業②
学年	小学校第5学年
目標	・自動車を作る工業の学習をいかし、大量生産している自動車の部品を切らさないようにするために自動車を作る人だけでなく、部品を管理している人も工夫していることを理解する
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	S c r a t c h
環境	コンピュータ教室であれば1人1台、タブレット端末を使うときは小グループであれば1人1台
都道府県	石川県
実施校	小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>1 これまでの学習を確認し、本時の課題を知る</p> <ul style="list-style-type: none">・各工場で部品が作られている、異常があった場合にはコンベアーを止める <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【課題】工場責任者になって考えよう。消費者にしっかり届くようにするには、部品の注文はどうしたらいいだろう</p></div> <p>2 工場の責任者になったつもりで、車の完成のために必要な部品を切らさないようにするためのプログラミングをする</p> <ul style="list-style-type: none">・Scratch で部品の数が工場にどれくらい残っているのか、1日の生産台数はどれくらいなのかを考え、あとどれくらいで部品がなくなるかを考えるプログラムを作る・生産台数、倉庫の部品の数、使用部品の数を入力し、部品が不足する日が分かるというプログラムを作る <p>※工場では1日にたくさんの自動車を生産していることを学習したことを確認し、部品の管理が大変であることを理解させる</p> <p>※簡単に部品の管理をするためにはどうすればいいかを考えさせ、プログラミングの必要性にふれる</p> <p>※自分の作ったプログラムをペアで試してみることで、正しいか確認する</p> <p>3 本時のまとめをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>1日に何台もの自動車を生産する工場では部品の管理が大変なことに気づき、管理を簡単にするプログラムを作ることができる</p></div>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none">・教科のねらいに迫るためにプログラミングを活用するのではなく、プログラミングを行う授業となってしまう。・単元のどの位置にプログラミングを用いる時間を入れたら良いのかが分からない。